

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020190

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	14 芸術・文化の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 芸術・文化活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	芸術文化公演事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	8 保育所	
事業指標	芸術文化鑑賞機会の充実		#N/A	
事業目標	保育所・親子、小・中・高等学校・一般鑑賞会の開催	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校、一般芸術鑑賞会 文化講演会事業の開催(隔年開催)	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校、一般芸術鑑賞会 文化講演会事業の開催(隔年開催)	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校、一般芸術鑑賞会 文化講演会事業の開催(隔年開催)	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校、一般芸術鑑賞会 文化講演会事業の開催(隔年開催)	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校、一般芸術鑑賞会 文化講演会事業の開催(隔年開催)	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校、一般芸術鑑賞会 文化講演会事業の開催(隔年開催)	
	事業費(千円)	17,000	4,600	1,600	4,600	1,600	4,600
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	300	100		100		100
一般財源	16,700	4,500	1,600	4,500	1,600	4,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,453	2,621	1,200	3,932	1,599	3,101
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	137	26		111			
一般財源	12,316	2,595	1,200	3,821	1,599	3,101	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	入場料徴収	【評価・実績】	(実施内容等) 保育所・小学1～2年生親子一般(154名) 小学3～6年生(177名) 中学・高校・一般(289名) 文化講演会(50名)	(実施内容等) 保育所・小学校・一般 458名 中学生 117名 高校生 226名	(実施内容等) 保育所・小学1～2年生親子一般(202名) 小学3～6年生(153名) 中学・高校・一般(327名) 文化講演会(286名)	(実施内容等) 保育所・小学1～2年生親子一般(200名) 小学3～6年生(145名) 中学・高校・一般(229名)	(実施内容等) 保育所・小学1～2年生親子一般(185名) 小学3～6年生(155名) 中学・高校・一般(229名) 文化講演会(265名)
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	57%	75%	85%	100%	67%
	全体達成率	15%	22%	46%	55%	73%	
	備考欄						

事業名	芸術文化公演事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	鑑賞会回数								
【抱える課題やニーズは】	過疎地域であり、都会から離れたところにある本町の住民は、様々な芸術・文化に触れる機会が不足している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	様々な芸術・文化に触れる機会を創出し、町民の芸術・文化に対する興味や理解を促進する。	① 開催回数(芸術鑑賞会)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	4回	実績値	4回	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	4回										
実績値	4回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町民の芸術・文化活動への興味や理解が深まり、町の文化的な取組が活性化する。	② 開催回数(文化講演会)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	芸術鑑賞会の開催	保育所・小学校1~2年・親子一般、小学校3~6年、中学校・高校・一般									
	文化講演会の開催	東国原英夫氏講演会									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の芸術・文化に対する興味や理解を高めるため、様々な芸術・文化に触れる機会を創出することは、生涯学習推進の一環として必要な取組である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	芸術鑑賞会では各年齢層に応じた鑑賞機会を提供することができ、アンケート結果から満足度の高い内容で実施することができた。また、著名な講師を招いた文化講演会には、多くの町民が来町した。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	予算内で計画どおり実施することが出来た。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	幅広い年齢層を対象としていることから公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の芸術・文化への興味や関心が生まれ、芸術・文化活動に対する理解を深めることができた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
芸術・文化活動の機会を創出することは、生涯学習推進の一環として必要な取組であることから、今後も継続していく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止